補助金等支出明細書

1.	補助]金等の名称	平成23年度尾瀬国立公	公園利用適正化推過	進事業委託業務
2.	事業	事業の目的及び内容			
		目的 尾瀬国立公園は、本州最大の湿原である尾瀬ヶ原をはじめとする湿原景観を有し、貴重な植物も多数分布した極めて高い自然的価値を持つ地域である。また、首都圏に比較的近いことから年間約30万人以上の利用者がある一方で、特定の時期や場所に利用が集中するため、自然環境に対する影響が懸念されている。本業務では、「適正利用促進業務」、「野生生物対策業務」、「尾瀬ビジョンの進行促進業務」等を実施している。平成23年度は、これまでの業務を発展的に継続させ、低利用入山口・ルートの利活用に向けた取り組み、及び新たなウェブサイトの構築に向けた検討を行い「尾瀬ビジョン」の「適正利用の推進」に関する取り組みを実施していくとともに、協議会及び各小委員会を運営し、「尾瀬ビジョン」の進行促進、進行管理及び具体化を図っていく。			
	ν=/	適正利用促進事業・・・快適利用の促進、調査研究促進のための支援実施、効果的な情報提供のあり方の検討、低利用入山口・ルートの利用の促進「尾瀬ビジョン」の進行促進事業・・・尾瀬国立公園協議会の事務局運営、快適利用の促進(利用分散等)に関する小委員会の運営補助、「生態系の状況の的確な把握」に関する小委員会の事務局運営			
3.		寸先の公益法人の名称 (財)尾瀬保護財団			
4.		交付実績額 7,557 千円(A)			
5.		金等における管理費			
	,)人件費			4,880 千円
	· · ·)一般管理費			939 千円
	(3))その他の管理費			T
		内容 			金額
					千円
	4-1 * -1	合計			5,819 千円
6.		部への支出 > は初に再ばは、再季託等されているものに関する主出			
	(1)	外部に再補助・再委託等されているものに関する支出 支出内容 支出先 金額			
		文出	内谷	支出先	金額
		A = 1			千円
	(0)	合計			千円(B)
	(2)	(1)以外の支出 支出内容 支出先			△ \$5
		旅費		支出先	金額 720 千円
		講師謝金		委員、職員等 外部有識者	90 千円
		消耗品		77 司 有 畝 有	
		損料借料 パソコンリース会社			426 千円
		通信運搬費			18 千円
		保険料等			1 千円
		合計			1379 千円
7.	その				
, ·					
	当 律	内容 内			360 千円
	千円				
合計 360 千円					
8.	■ 再補助・再委託等の割合				0 %(B/A)